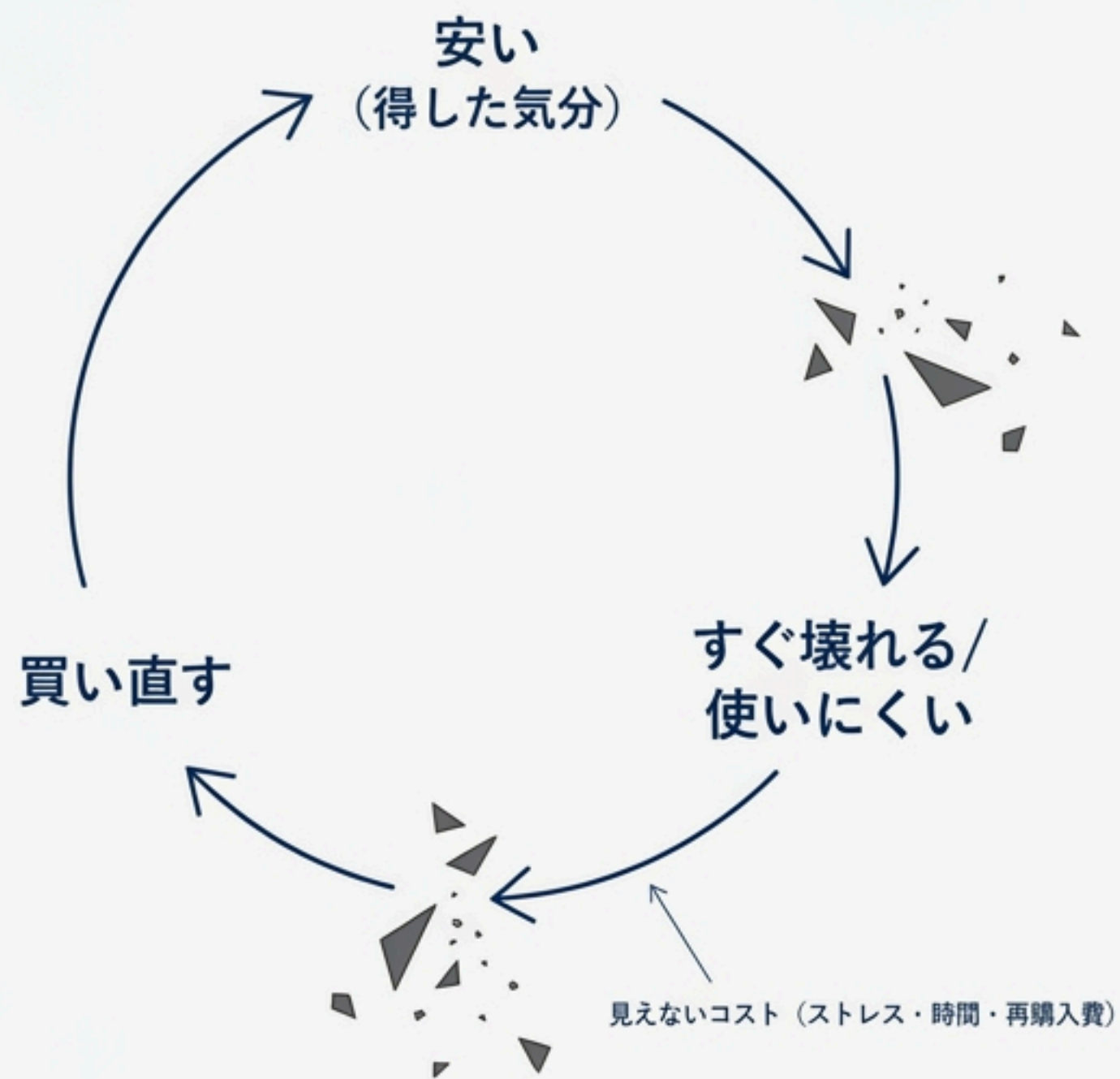




# 安物買いの銭失い

— 単なる節約の失敗ではない。価値を見抜けない「損失」である。



「安さ」に目を奪われ、  
全体の設計を見失う。  
見えないコストが、  
結果的に高くつく。

高いか安いかわからない。

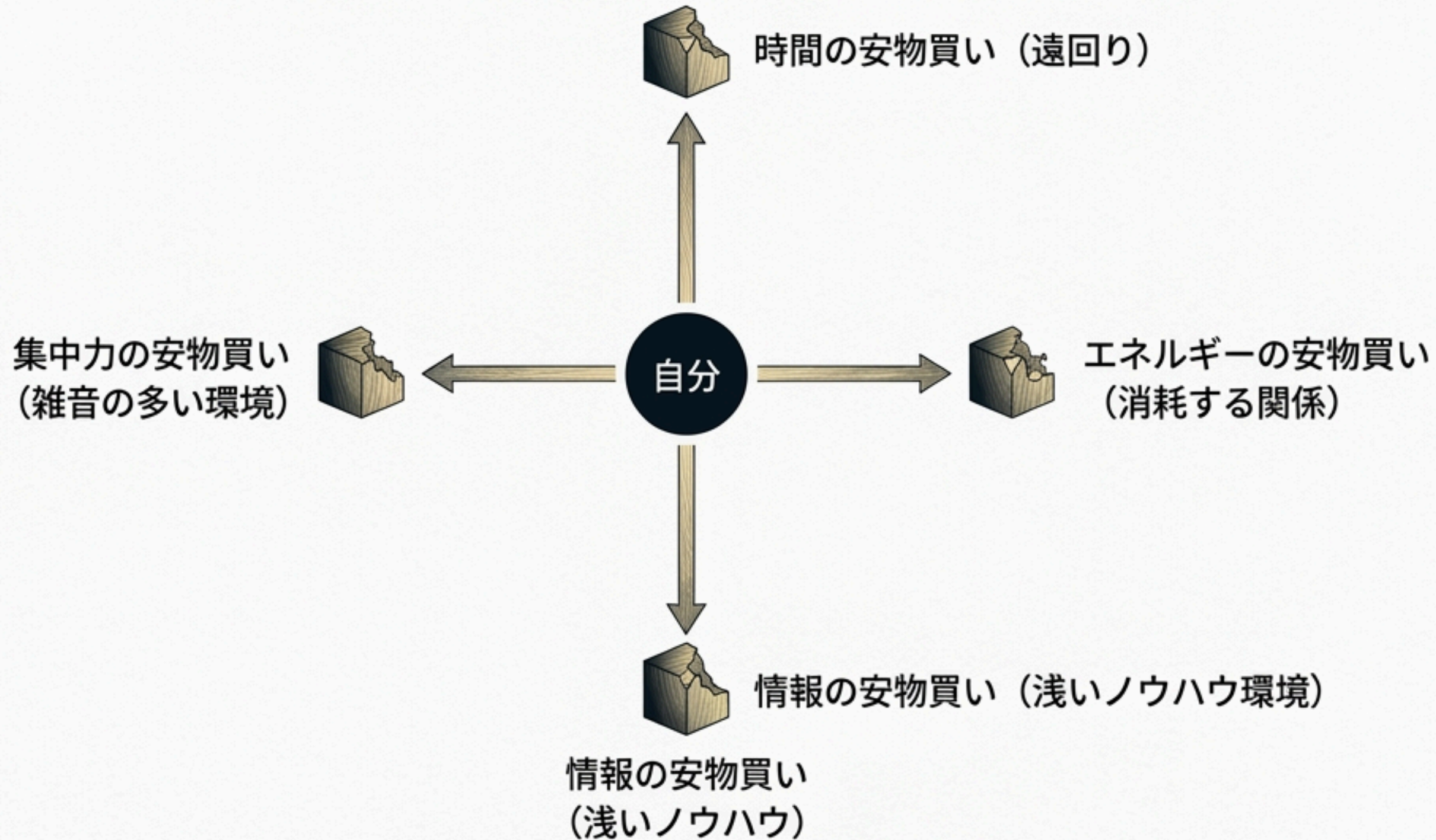
「価格」と「価値」のバランスを見ているか。

高	使わないブランド品 (銭失い)	長く使える良品
低	すぐ壊れる粗悪品	100円の優秀なペン (賢い選択)
	低	高

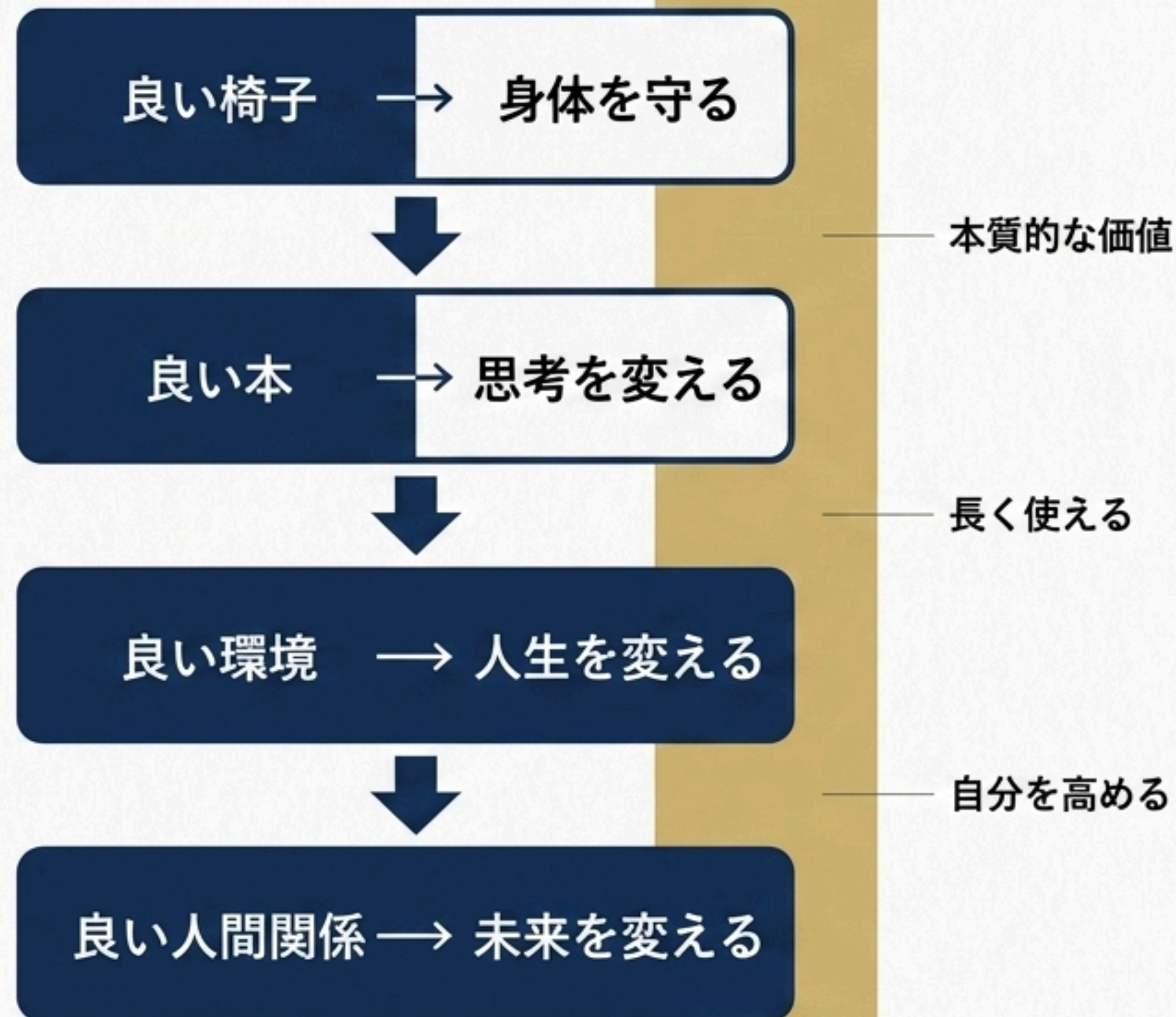
価格

価値 / 長期使用

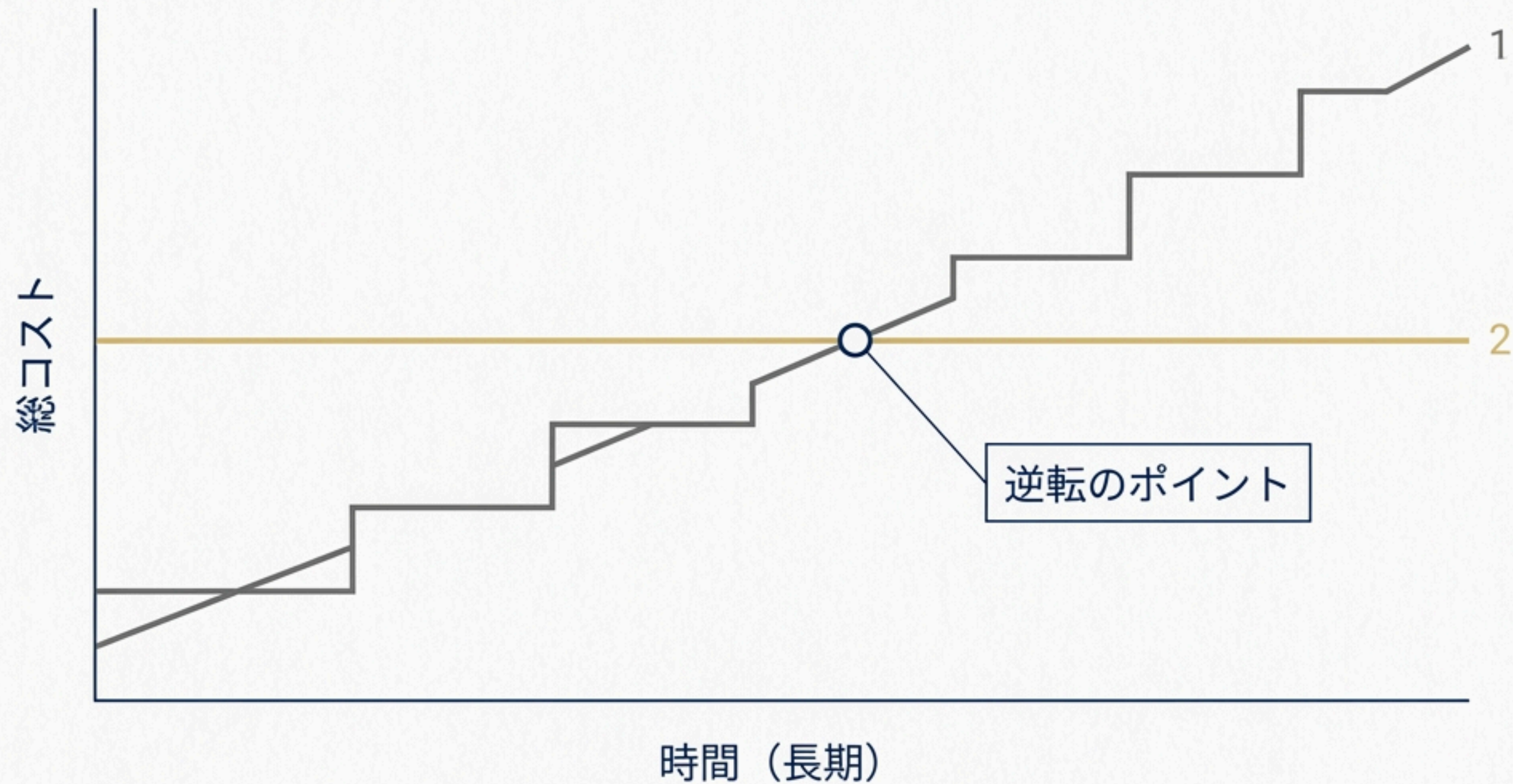
「安物買い」は、お金だけの話ではない。  
人生の有限な資源を失っていないか。



良いものを選ぶとは、  
結果的に  
「人生のコスト」を  
下げること。



初期コストは高くとも、総コストは低い選択。  
総コストは低い選択。



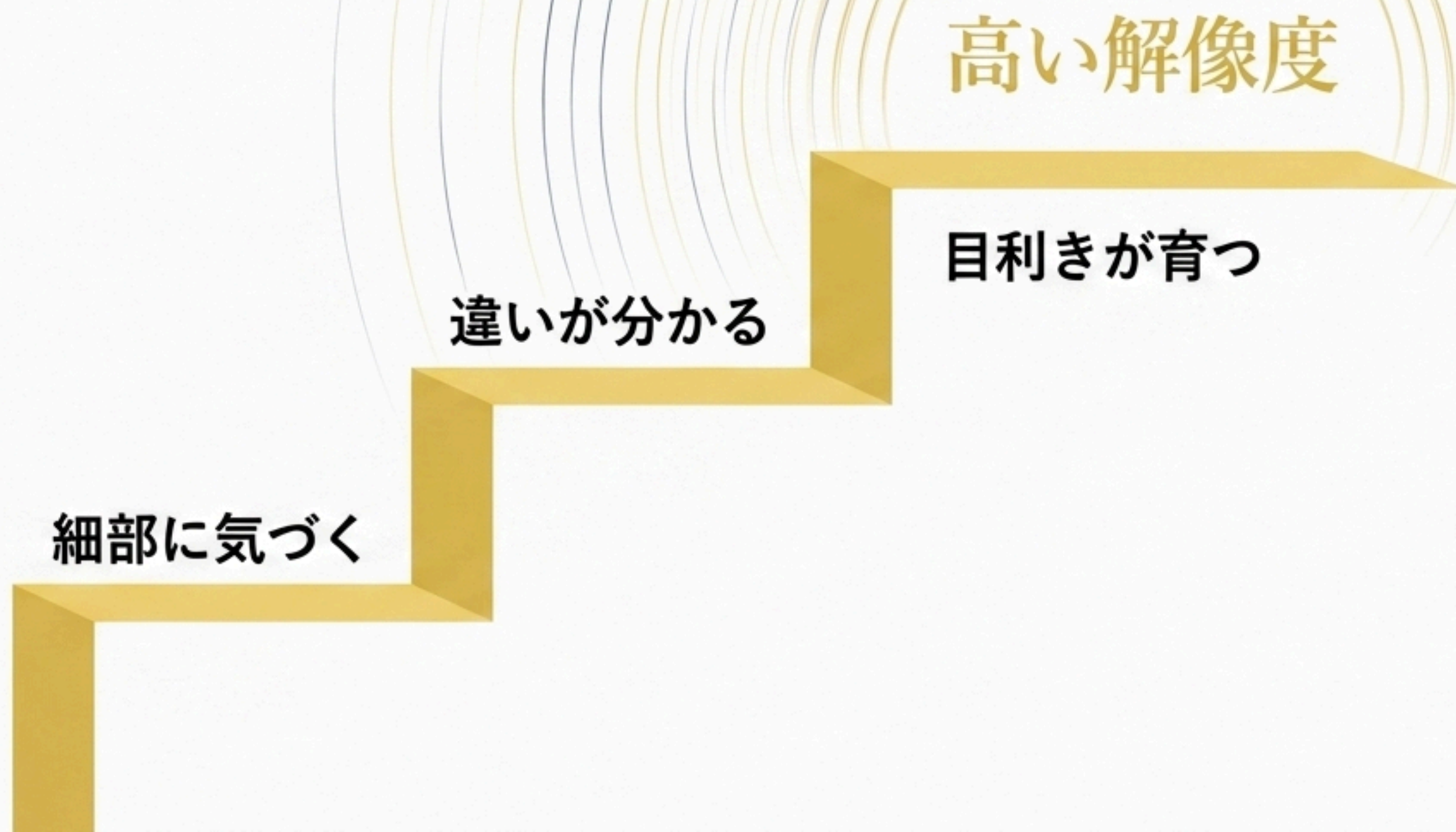
最も恐ろしいのは、「安物」に慣れ、  
あなた自身の基準が下がること。

雑なものでも平気になる

違いが分からなくなる

自分自身の価値も下がる

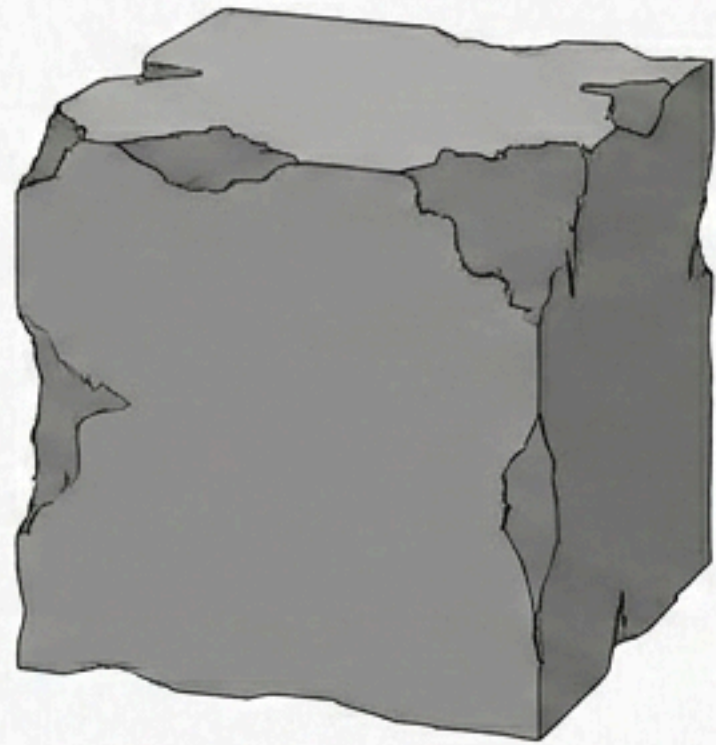
良いものに触れると、基準が上がる。  
細部に気づき、未来の選択精度が上がる。



あなたの判断軸は、どちらにあるか。

価格の安さ	判断の基準	価値の高さ
今だけ・短期	視点	長く使える・長期
安く済ませる	行動	無駄を減らす
基準の低下・資源の浪費	結果	目利きの成長・総コスト低下

節約とは、削ることではない。最適化することである。



削る



最適化

あなたのその選択は、本当に得をしているか。  
それとも、気づかないうちに失っているか。

今一度、自分の「目利き」を見直す。

